

## 2013年度通常総会について

2013年度通常総会は、2013年4月26日に開催され、以下の議案がすべて原案通り承認されましたので、お知らせします。

- 第1号議案：2012年度事業報告の件
  - 第2号議案：2012年度決算報告および監査報告の件
  - 第3号議案：2013-2014年度新役員承認の件
  - 第4号議案：2013年度新名誉会員承認の件
  - 第5号議案：定款・規程変更の件
- 報告1. 2013年度事業計画, 2. 2013年度収支予算

### 2012年度事業報告

(第1号議案)

事業番号：公1 (1本のみ)

事業の内容：オペレーションズ・リサーチの研究・普及啓発を行う事業

#### 【研究発表会・シンポジウム等の開催】

##### □事業の趣旨・内容

本事業は、研究発表会・シンポジウム等を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

#### 1. 研究発表会

- (1) 春季研究発表会を3月27日、28日の両日、防衛大学校（横須賀市）にて開催した。  
発表件数131件 参加401人
  - ・特別テーマ「東日本大震災：復興への道とOR」
  - ・特別講演（一般公開）
    - 1) 東日本大震災とその復興 五百旗頭真（防衛大学校学校長）
    - 2) エネルギー受給の将来を考える—エネルギーインテグレーション 荻本和彦（東京大学生産技術研究所特任教授）
- (2) 秋季研究発表会を9月12日、13日の両日、ウイंकあいち（名古屋駅前）にて開催した。  
発表件数138件 参加340人
  - ・特別テーマ「人財マネジメントとOR」
  - ・特別講演（一般公開）
    - 1) 発想と差別化の型破り経営論 山田昭男（未来工業株式会社取締役相談役）
    - 2) 人間にとって障害とは何か 正高信男（京都大学霊長類研究所教授）

#### 2. シンポジウム

- (1) 春季シンポジウムを3月26日、防衛大学校（横須賀市）にて開催した。  
テーマ「災害対処の施策とOR」 講演5件 参加者114人
- (2) 秋季シンポジウム9月11日、南山大学にて開催した。  
テーマ「現場と理論の対話」 講演5件 参加者169人

#### 3. ORセミナー

- ・第1回「Excelで学ぶOR」を9月21日、(株)構造計画研究所本所新館にて開催した。参加者31名。

題 目	講 師
基本編（モデリングと定式化およびExcelソルバーの使い方）	藤澤克樹（中央大学）
応用編1（不確実性下の意思決定と評価のための方法論）	後藤順哉（中央大学）
応用編2（都市・交通のデザインと計画・運用のための最適化手法）	吉良知文（中央大学）

#### 4. ORサロン

新運営方法検討中にて、本年はなし。

#### 5. 企業事例交流会

(1) 春季企業事例交流会を春季研究発表会にて開催した。発表件数4件。

(2) 秋季企業事例交流会を秋季研究発表会にて開催した。発表件数4件。

#### 6. 新宿OR研究会

昭和55年創設以来、年間10回の例会を開催している。テーマはOR関係の最近の動向に留まらず会員推薦の各界の話題など極めて広範、かつ時宜に適ったもので、メンバーの啓発、懇親を行っている。会誌・ホームページ・メールマガジンに開催案内を掲載し、新宿地区を中心に会員の幅広い参加を呼びかけている。

(2013年2月例会が通算第325回)

### 【機関誌、論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動】

#### □事業の趣旨・内容

本事業は、機関誌・論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目とする。

#### 1. 機関誌

機関誌「オペレーションズ・リサーチ」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
2012年3月1日	57	3	2,800部
2012年4月1日	57	4	2,800部
2012年5月6日	57	5	2,800部
2012年6月1日	57	6	2,800部
2012年7月1日	57	7	2,800部
2012年8月1日	57	8	2,800部
2012年9月1日	57	9	2,800部
2012年10月1日	57	10	2,800部
2012年11月1日	57	11	2,800部
2012年12月1日	57	12	2,800部
2012年12月28日	58	1	2,800部
2013年2月1日	58	2	2,800部

#### 2. 論文誌

Journal of the Operations Research Society of Japan, 和文論文誌 (Transactions of the Operations Research Society of Japan) を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
2012年3月	55	1	130部
2012年6月	55	2	130部
2012年9月	55	3	130部
2012年12月	55	4	130部
2012年12月(和文)	55		80部

### 【研究部会による調査研究とその公表活動】

#### □事業の趣旨・内容

本事業は、研究部会による調査研究とその公表活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

調査研究にあたっては、専門の研究部会を組成し、主査・幹事が中心となり研究希望者を公募して行っている。

	常設部会	主査, 幹事	メンバー	開催	内 容	場所
1	待ち行列	小沢利久 (駒澤大学) 小林正弘 (東京理科大学)	25名	7回	7回の部会(講演13件)において、待ち行列および関連分野の研究動向について意見交換を行った。京都大学小西康晴君に「待ち行列部会研究奨励賞」授与。延参加者183名	東工大・大岡山キャンパス
2	数理計画 (RAMP)	加藤直樹 (京都大学) 藤澤克樹 (中央大学)	30名	1回	9月27・28日に第24回シンポジウムを開催した。数理計画・最適化の理論および応用の最前線で活躍している13名の研究者を講演者として招いた。多くの研究者や学生が参加し、最先端の研究成果について情報交換を行った。延参加者110名。	東北大学
3	評価のOR	関谷和之 (静岡大学) 中林 健 (防衛省)	13名	6回	年5回の定例研究会を開き、毎回約2名の講演者を招くことで、DEAを主にORでの評価手法・意思決定手法に関して計13件の講演を行った。また学生発表会を開催し、学生奨励賞を授与した。延参加者97名。	政策研究大学院大学
4	意思決定法	田地宏一 (名古屋大学) 西澤一友 (日本大学)	25名	4回	AHPを中心とした意思決定法に関する発表により、意思決定手法の理解を深め、企業や行政などの政策立案評価、マネジメントにおける適用性を高めることができた。4月のJSAHP開催含み4回。延参加者85名。	日本大学・桜門会館、他
5	サプライ チェーン戦略	高井英造 (フレームワークス) 草刈君子 (サイテック・ジャパン)	34名	8回	サプライチェーンにおける経営戦略、実施戦略、戦略的ビジネスプロセス、グローバルSCM、OR手法の適用について、事例と理論の両面から研究する。延参加者287名。 <a href="http://scs.blog.so-net.ne.jp/">http://scs.blog.so-net.ne.jp/</a> 参照	青山学院大学・総研ビル

	研究部会	主査, 幹事	メンバー	開催	内 容	場所
1	最適化の理論 と応用	牧野和久 (東京大学) 小林佑輔 (東京大学)	10名	5回	毎回2名の講演者を招き、5回の研究発表を行った。7月に2日間に亘る合宿形式の研究会を行い、2件の特別講演と28件の一般発表を行い、優れた発表6件を表彰した。延参加者267名。	東京大学・筑波大学
2	数理的手法の 展開と応用	金子宏之 (小松短期大学) 武市祥司 (金沢工業大学)	10名	5回	数理モデルをキーワードとして、北陸地区において5回の研究集会を開催し、計13件の研究報告があった。OR周辺領域からも講演者を招き、理論から応用まで幅広いテーマについて議論し、研究交流を行った。延参加者73名。	金沢学院大学、福井工業大学、他
3	政治と社会と 行政のOR	諸星穂積 (政策研究大学院大学) 田中健一 (電気通信大学)	20名	7回	毎回2名の講師を招き、公共諸部門や社会システム全般における問題解決、意思決定、政策の策定と評価等、ORの理論と手法の幅広い応用研究に関する発表を行っていただき、参加者間で積極的な討論を行った。延参加者87名	政策研究大学院大学
4	OR横断若手 の会	福永拓郎 (国立情報学研究所) 谷川眞一 (京都大学)	9名	5回	本年度は5回の研究部会を開催し、学生および若手研究者によって、ORのさまざまな分野についての研究発表が行われた。また昨年を引き続いて10月に合宿を開催し、全国から33名の参加者を集め、活発な研究交流が行われた。延参加者108名。	京都大学

5	防衛と安全 (同一名称 2期目)	丸山明 (防衛省) 横谷大輔 (航空自衛隊)	15名	8回	防衛と安全に関するさまざまな問題について、6回の研究会を開催。また、主要なメンバーを中心に、防衛大学校での春季シンポジウム・研究発表会の開催を計画した。延参加者165名。	政策研究大学院大学
6	持続可能社会のためのインフラストラクチャー戦略	三浦英俊 (南山大学) 高嶋隆太 (千葉工業大学)	22名	12回	持続可能社会の実現という視点から、インフラストラクチャーに関わる諸問題に取り組んだ。①エネルギーの安定供給、再生可能エネルギーの効率的利用②広域インフラストラクチャーの地域安定に果たす役割と効率的運用③グローバル・インフラストラクチャーの数理地政学的研究、といったテーマで研究を推進した。延参加者115名。	日本GIF財団会議室
7	確率最適化モデルとその応用	穴太克則 (芝浦工業大学) 堀口正之 (神奈川大学)	14名	6回	今年度もDPに関するシンポジウムを開催し、2日間延べ9件の講演。関連部会・海外研究者メンバーによる講演など研究成果発表を積極的に行った。計21件延参加者76名。	芝浦工業大学、上智大学、他
8	サービスサイエンス	高木英明 (筑波大学) 雑賀憲彦 (名城大学)	20名	5回	サービス産業の生産性向上とイノベーションに向けて、数理最適化や待ち行列等のオペレーションズ・リサーチの手法で問題の発見と解決を試みるテーマを中心に、ワークショップを含み5回、16の発表。延参加者98名。	筑波大学、名城大学、
9	サービス産業における最適化と意思決定	伊藤 健 (東北大学) 蓮池隆 (大阪大学)	14名	7回	サービス産業、あるいは公共サービスのサービス提供課程に注目した最適化事例の報告を受け、評価・問題・改善点について産・学・官のさまざまな立場による意見・情報交換を行った。延参加者64名。	東北大学・松本大学・高知大学
10	食料・農業・環境における意思決定	鹿内健志 (琉球大学) 加島智子 (近畿大学)	12名	4回	農業経営における暗黙知の継承や生育状態や環境の情報をセンサから収集・分析して最適な制御を目指す農業および食育を評価した献立計画モデルなどを議論し、かつ、解決のためのORのアプローチの議論を深めた。発表7件、延参加者62名。	琉球大学・広島経済大学、他
11	先端マーケティング分析	鈴木秀男 (慶應義塾大学) 横山暁 (帝京大学)	12名	7回	ゴルフ関連のWebサイトのアクセスログ等のデータを提供した「データ解析コンペティション」開催。学生・一般・課題設定部門合わせて34チームの参加者を交えて活発な討論を行った。延参加者230人	慶應義塾大学
12	不確実性環境下での意思決定科学	三道弘明 (大阪大学) 小出武 (甲南大学) 北條仁志 (大阪府立大学)	14名	6回	不確実性を科学的に取り扱う古典的な手法や、それらの組合せによる発展などの講演を拝聴し、活発な意見交換、情報交換した。参加者もコンスタントに多く、不確実を扱う研究への関心のある研究者が多いことを再認識した。延参加者115名。	西宮大学交流センター、他

	研究グループ	主査、幹事	メンバー	開催	内容	場所
1	都市と地域のOR	大澤義明 (筑波大学) 石井儀光 (独) 建築研究所)	50名	2回	サマー・セミナーを8月17日に筑波大学で開催し9件の発表と40名の参加者があった。ウィンター・ワークショップを12月15・16日南山大学で開催し27件の発表と60名の参加者があった。延参加者160名。	筑波大学・南山大学

## 【表彰活動】

### □事業の趣旨・内容

本事業は、表彰活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

### （春季表彰）

- (1) 第37回普及賞
  - ・真鍋龍太郎（文教大学）
  - ・鈴木道夫（(財)電力中央研究所）
- (2) 第36回実施賞
  - ・株式会社構造計画研究所
- (3) 第13回業績賞
  - ・加藤直樹（京都大学）

### （秋季表彰）

- (1) 第2回研究賞
  - ・塩浦昭義（東北大学）
- (2) 第2回研究賞奨励賞
  - ・岡本吉央（電気通信大学）
  - ・小林佑輔（東京大学）
  - ・北原知成（東京工業大学）
  - ・宮代隆平（東京農工大学）
- (3) 第32回事例研究賞
  - ・田中健一（電気通信大学）／古田壮宏（東京理科大学）
  - ・勝又壮太郎（長崎大学）／阿部 誠（東京大学）
- (4) 第2回論文賞
  - ・田中健一（電気通信大学）
- (5) 第30回学生論文賞
  - ・平山剛史（修論東京大学）
  - ・新見朋広（修論京都大学）
  - ・鮭川矩義（修論筑波大学）
  - ・川島大貴（修論名古屋大学）
  - ・宮内敦史（卒論上智大学）

## 【支部活動】

### （北海道支部）

活動	年月日	場所	内 容
総会	2012/3/30	北海道大学	2011年度事業報告，決算 2012年度事業計画，予算，役員
講演会	2012/6/26	北海道大学	演題：「初音ミクの発想，ドラえもんの実装，人工知能の夢」 参加者：200名
講演会	2013/2/18	北海道大学	「ビックデータとクラウドコンピューティングの研究最前線」 参加者：8名

### （東北支部）

活動	年月日	場所	内 容
総会	2012/3/15	東北大学	H23年度事業報告，H23年度決算，H24年度事業計画など，
講演会	2012/3/15	東北大学	相羽康郎氏（東北芸術工科大学 教授）「東日本大震災復興の展望と課題」
研究会	2013/2/15	東北大学	Milan Vlach氏（Charles University）「Solutions for cooperative models of bargaining」
研究会	2013/2/27	東北大学	神 正昭氏（東北支部支部長）「福島から検出される放射線の測定と現状について」，吉良知文氏（秋田県立大学システム科学技術学部）「ライフラインの災害復旧計画と局所探索法」

(中部支部)

活動	年月日	場所	内容
総会	2012/3/10	中部品質管理協会	2012年度事業・予算・役員承認
支部研究発表会	2012/3/10	中部品質管理協会	14件の発表, 参加者約45名
特別講演	2012/3/10	中部品質管理協会	講師: 神保雅一 (名古屋大学) 題目: 組合せデザインの情報通信への応用 参加者約35名
第9回中部支部シンポジウム	2012/6/30	名城大学名駅サテライト	テーマ「最新データ・サイエンスの動向」 講演者: 生田目 崇 (専修大学), 鶴見裕之 (横浜国立大学) 森田裕之 (大阪府立大学) 羽室行信 (関西学院大学) 参加者74名
支部講演会	2012/12/8	中部品質管理協会	講師: 中川覃夫 (愛知工業大学) 題目: 信頼性・保全本研究雑感 講師: 澤木勝茂 (南山大学) 題目: 都市間交通市場における競争と動的価格モデル 参加者28名

(関西支部)

活動	年月日	場所	内容
記念講演会	2012/3/31	関西学院大学大阪梅田キャンパス	原口和也氏 (石巻専修大学) により「湖水観測地点の配置問題」という演題で講演を行い, 24名の参加者があった。
総会	2012/3/31	関西学院大学大阪梅田キャンパス	2011年度事業報告・決算および2012年度事業計画・予算などが承認された。参加者は24名であった。
研究実践者交流会 (支部事業)	2012/11/10	関西学院大学大阪梅田キャンパス	「データ解析技術とその活用」というテーマで6件の講演を行い, 28名の参加者があった。
支部研究講演会	2012/11/15	大阪府立大学中百舌鳥キャンパス	「続・娯楽のOR」というテーマで5件の講演を行い, 46名の参加者があった。

(中国・四国支部)

活動	年月日	場所	内容
総会	2012/3/22	広島経済大学	平成23年度活動・決算報告, 平成24年度支部役員・活動予定・予算の報告
講演会	2012/3/22	広島経済大学	講師: 河合一氏 (鳥取大学) 「劣化と故障をともなうシステムの維持・管理問題」
講演会	2012/8/2	広島大学	講師: W Eric Wong氏 (University of Texas at Dallas, USA) “Program Debugging with Effective Software Fault Localization”
講演会	2013/2/7	徳島大学	講師: 一ノ瀬元喜氏 (阿南高専) など5名, 21名参加
講演会	2013/3/8	鳥取大学	講師: Keith W. Hipel氏 (ウォータールー大学) “Tackling Climate Change: A System of Systems Engineering Perspective”
シンポジウム	2012/10/26	山口大学	テーマ: プロジェクトマネジメントとOR 講師: 井上真二氏 (鳥取大学) など5名
講演会	2012/12/11 など3回	鳥取大学	研究部会「地方都市の数理解析」開催
講演会	2012/9/26 など3回	広島経済大学	研究部会「SCM&サービス工学研究グループ」開催
			その他, 協賛事業2件

(九州支部)

活動	年月日	場所	内容
総会	2012/3/31	九州大	平成23年度活動報告, 平成24年度活動計画. 15名参加.
講演会	2012/3/31	九州大	樋口知之氏(統計数理研究所所長)「データ同化を用いた次世代ものづくりへ」. 21名参加.
講演会	2012/7/21	北九大	古月敬之氏(早稲田大学大学院)「Quasi-ARX Neural Network Model and Its Applications」. 12名参加.
研究会	2012/7/21	北九大	2件の研究発表. 今西衛氏(福岡大), 陸可氏(九州大). 12名参加.
交流会	2012/10/27 ~10/28	北九大後援会館	1泊2日の合宿形式の若手研究者中心の交流会. 13件の研究発表. 29名参加.
講演会	2012/10/28	北九大 後援会館	来嶋秀治氏(九州大大学院)「確率と計算」. 29名参加.
講演会	2012/12/1	西南大	井上創造氏(九州工大大学院)「ヘルスケアにおける大規模センシングとプロセス改善に向けて」. 17名参加.
研究会	2012/12/1	西南大	2件の研究発表. 吉原清次氏(西鉄エム・テック株式会社), 王曉華氏(西南大). 17名参加

【会議】

(1) 通常総会

開催年月日		結果
2012.4.27	1. 2011年度事業報告の件	承認
	2. 2011年度収支計算報告および監査報告の件	〃
	3. 2012年度-2013年度役員承認の件	〃

(2) 理事会(略)

【役員】

理事(非常勤)

定数: 12人から18人(現在: 18人)

任期: 2年

監事(非常勤)

定数: 2人(現在: 2人)

任期: 2年

2012年度末現在

【職員】(略)

【会員状況】

2012年度入退会状況

	名誉会員	正会員	学生会員	賛助会員A	賛助会員B	合計
2012.2.29	11	1894	177	38(47)	22(22)	2142(69)
入会		28	57	3(3)		88(3)
退会		▲104	▲25	▲3(3)	▲2(2)	▲134(5)
移動	学→正	19	▲19			
	正→学	▲3	3			
	正→名					
資格喪失		▲27	▲12		▲1(1)	▲40(1)
復活						
2012年度累計 純増減	0	▲87	4	0	▲3(3)	▲86(3)
2013.2.28現在	11	1807	181	38(47)	19(19)	2056(66)

( )内は口数

2012年度支部別会員数

支部	名誉会員	正会員	学生会員	賛助会員A	賛助会員B	合計	前年比	
							個	賛
北海道	0	48	3	1	0	52	—	—
東 北	1	62	3	0	0	66	▲5	—
中 部	0	156	16	1	1	174	▲13	—
関 西	2	247	28	4	0	281	▲10	▲2
中四国	0	109	5	1	0	115	▲3	—
九 州	0	91	19	0	0	109	▲8	—
本 部	8	1094	107	31	18	1259	▲44	▲1
合計	11	1807	181	38	19	2056	▲83	▲3



## 貸借対照表

平成25年2月28日現在

(単位:円)

科 目	当年度
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	24,760,156
未収会費	1,004,600
未収金	979,104
前払金	249,480
前払費用	706,969
流動資産合計	27,700,309
2. 固定資産	
(1) 特定資産	
退職給付引当資産	254,000
名簿作成準備積立金資金	500,000
国際協力積立金資産	15,000,000
表彰事業積立金資産	7,000,000
OA化積立金資産	8,380,000
OR事典積立金資産	4,000,000
特別研究積立金資産	5,000,000
近藤賞基金引当資産	12,102,069
公益事業充当資産	20,000,000
創立60周年記念事業準備資産	10,000,000
リース資産	1,421,280
特定資産合計	83,657,349
(2) その他固定資産	
保証金	950,400
その他固定資産合計	950,400
固定資産合計	84,607,749
資産合計	112,308,058
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払費用	681,305
前受金	2,026,600
前受会費	21,871,000
預り金	103,346
未払消費税等	296,000
流動負債合計	24,978,251
2. 固定負債	
退職給付引当金	508,000
リース債務	1,391,670
固定負債合計	1,899,670
負債合計	26,877,921
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	5,000,000
(うち特定資産への充当額)	(5,000,000)
指定正味財産合計	5,000,000
2. 一般正味財産	80,430,137
(うち特定資産への充当額)	(78,403,349)
正味財産合計	85,430,137
負債及び正味財産合計	112,308,058

正味財産増減計算書

平成24年3月1日から平成25年2月28日まで

(単位:円)

科目	当年度
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
特定資産運用益	34,479
受取利息	34,479
受取入会金	77,700
受取正会員入会金収入	43,500
受取学生会員入会金収入	34,200
受取会費	33,704,700
正会員受取会費収入	27,021,700
学生会員受取会費収入	1,020,000
賛助会員受取会費収入	5,663,000
事業収益	18,614,649
受取販売収益	4,027,340
受取研究発表参加収入	4,048,000
受取参加料	2,807,900
受取広告料	5,890,438
受取受託料	1,360,000
受取掲載料	310,000
受取著作権料	170,971
受取補助金等	80,000
受取寄付金	10,000
雑収益	418,373
受取利息	7,703
雑収益	410,670
経常収益計	
(2) 経常費用	
事業費	36,670,999
給与手当	3,782,663
賞与	1,347,676
臨時雇賃金	3,603,184
法定福利費	867,498
福利厚生費	6,159
旅費交通費	1,253,382
通信運搬費	3,458,619
退職給付費用	228,600
消耗品費	1,184,842
会議費	3,870,770
印刷製本費	7,397,020
賃借料	2,694,384
保険料	3,555
租税公課	296,000
諸会費	2,841,285
委託費	2,541,124
支払手数料	200,894
減価償却費	319,788
貸倒損失	308,080
雑費	465,476
管理費	6,260,398
給与手当	420,287
賞与	149,741
臨時雇賃金	346,479
法定福利費	96,385
福利厚生費	684
旅費交通費	461,991
通信運搬費	42,705

退職給付費用	25,400
消耗品費	36,890
会議費	247,462
賃借料	299,376
保険料	395
租税公課	16,870
水道光熱費	265,170
委託費	2,262,808
支払手数料	10,719
支払報酬	419,769
諸会費	585,566
減価償却費	35,532
貸倒損失	285,120
雑費	251,049
経常費用計	42,931,397
評価損益等調整前当期経常増減額	10,008,504
評価損益等計	0
当期経常増減額	10,008,504
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	10,008,504
一般正味財産期首残高	70,421,633
一般正味財産期末残高	80,430,137
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	5,000,000
指定正味財産期末残高	5,000,000
III 正味財産期末残高	85,430,137

## 2013-2014年度新役員承認の件

(第3号議案)

理事	加藤 直樹	(京都大学)
〃	出馬 弘昭	((株)オーグス総研)
〃	松林 伸生	(慶應大学)
〃	岩田 覚	(東京大学)
〃	鈴木 勉	(筑波大学)
〃	池上 敦子	(成蹊大学)
〃	廣瀬 英雄	(九州工業大学)
〃	鈴木 恵二	(北海道大学)
監事	高木 英明	(筑波大学)

## 2013年度名誉会員承認の件

(第4号議案)

学会規程(現5-2-1, 新規定4-2-1)により, 前会長(2010~2011年度)数土文夫氏(現JFEスチール(株)相談役)を名誉会員に推薦.

## 定款および規程変更の件

(第5号議案)

### 1. 名誉会員の承認に関して

(現行定款)第3章会員6条名誉会員

この法人に功労のあった者および広くオペレーションズ・リサーチ学会に関連ある分野における学識経験者. 理事会の推薦にもとづき総会の承認を経たもの.

(修正案)

この法人に功労のあった者および広くオペレーションズ・リサーチ学会に関連ある分野における学識経験者で, 理事会の承認を得た者.

### 2. 学生会員の会費に関して

(現行定款)第3章会員8条経費の負担

この法人の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため, 会員になった時及び毎年, 会員は, 総会において別に定める額を支払う義務を負う.

(修正案)

この法人の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため, 会員になった時及び毎年, 正会員・賛助会員は, 総会において別に定める額を支払う義務を負う. ただし, 名誉会員はその支払を免除される. 学生会員は理事会の定める額を支払う義務を負う.

## 2013年度事業計画

(報告1)

事業番号：公1（1本のみ）

事業の内容：オペレーションズ・リサーチの研究・普及啓発を行う事業

### 【研究発表会，シンポジウム等の開催】

#### □事業の趣旨・内容

本事業は，研究発表会，シンポジウム，ORセミナー，ORサロン，企業事例交流会等の活動を通じて，オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し，オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて，文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

#### □2013年度計画

##### 1. 研究発表会

◇春季発表会：2013年3月5～6日 東京大学本郷キャンパスにて 参加数予定400名

特別テーマ「つながるOR」実行委員長 室田一雄（東京大学）

◇秋季発表会：2013年9月11～12日 徳島大学常三島キャンパスにて 参加数予定400名

特別テーマ「未定」実行委員長 大橋 守（徳島大学）

##### 2. シンポジウム

◇春季シンポジウム：2013年3月4日 政策研究大学院大学六本木キャンパスにて 参加数予定100名

テーマ「ORと最適化の最前線」シンポジウム委員長 土谷 隆（政策研究大学院大学）

◇秋季シンポジウム：2013年9月10日 徳島大学常三島キャンパスにて 参加数予定100名

テーマ「未定」シンポジウム 委員長 未定

##### 3. ORセミナー

◇第1回：2013年4月20日（株）構造計画研究所本所新館 参加数予定50名

テーマ「待ち行列チュートリアル」コーディネーター 齊藤 努（（株）構造計画研究所）講師3名

◇第2回：日時未定（株）構造計画研究所本所新館 参加数予定50名

テーマ「未定」コーディネーター 齊藤 努（（株）構造計画研究所）講師3名

##### 4. ORサロン

従来から年3～4回「企業経営戦略」を中心に講師招聘し，会員サービスの一環として継続してきたが，現在新たな「ORサロン」検討中にて，具体的計画は未定

##### 5. 企業事例交流会

◇春季企業事例交流会：2013年3月5～6日 東京大学本郷キャンパスにて 参加数予定50名

◇秋季企業事例交流会：2013年9月11～12日 徳島大学常三島キャンパスにて 参加数予定50名

##### 6. 支部の活動を通じた研究会，シンポジウム等

各支部においても例年通りの研究・普及啓発活動を展開する。

### 【機関誌，論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動】

#### □事業の趣旨・内容

本事業は，機関誌，論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動を通じて，オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し，オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて，文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

##### 1. 機関誌

◇発行回数：毎月1回年12回

◇発行号：58巻3号～59巻2号

◇発行総数：32,400部

## 2. 論文誌

- Journal of Operations Research Society of Japan (英文論文誌)

◇発行回数：年4回

◇発行号：56巻1号～56巻4号

◇発行総数：480部

- Transactions of Operations Research Society of Japan (和文論文誌)

◇発行回数：年1回

◇発行号：56巻

◇発行総数：120部

## 3. ウェブサイトの充実

昨年度は「社団法人」から「公益社団法人」への変更と英文案内を充実化させた。今年度も引き続き、使いやすさ・見やすさの追求と会員勧誘とサービス増大に繋げる。

## 4. OR事典Wikiの充実

学会が提供する事典の利用価値向上を目的として、必要な編集と追補を行う。

## 5. メーリングリストの活用

学会員が主体となって活発な情報交換の場として機能しているが、登録者数が約30%と低迷しており、昨年度より引き続き登録キャンペーンを強化して行く。

## 6. メールマガジンの充実

月2回の発行が堅持されており、さらに他学会情報も含め内容の充実化に努める。

## 【研究部会による調査研究とその公表活動】

### □事業の趣旨・内容

本事業は、研究部会による調査研究とその公表活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

調査研究にあたっては、専門の研究部会を組成し、主査・幹事が中心となり研究希望者を公募して行っている。

### 〈常設部会〉

- |               |                      |                        |
|---------------|----------------------|------------------------|
| 1. 待ち行列       | 主査：小沢利久（駒澤大）         | 幹事：小林正弘（東京理科大）         |
| 2. 数理計画（RAMP） | 主査：加藤直樹（京大）          | 幹事：藤澤克樹（中央大）           |
| 3. 評価のOR      | 主査：関谷和之（静岡大）         | 幹事：筒井美樹（電力中央研究所）       |
| 4. 意思決定法      | 主査：田地宏一（名古屋大）        | 幹事：西澤一友（日本大）           |
| 5. サプライチェーン戦略 | 主査：高井英造（(株)フレームワークス） | 幹事：草刈君子（(株)サイテック・ジャパン） |

### 〈部会〉

- |                       |                |                |
|-----------------------|----------------|----------------|
| 1. 確率最適化モデルとその応用      | 主査：穴太克則（芝浦工大）  | 幹事：堀口正之（神奈川大）  |
| 2. サービス産業における最適化と意思決定 | 主査：伊藤 健（東北大）   | 幹事：蓮池 隆（大阪大）   |
| 3. 先端マーケティング分析        | 主査：鈴木秀男（慶應大）   | 幹事：横山 暁（帝京大）   |
| 4. 最適化の理論と応用          | 主査：牧野和久（東京大）   | 幹事：小林佑輔（東京大）   |
| 5. 数的手法の展開と応用         | 主査：金子宏之（小松短大）  | 幹事：武市祥司（金沢工大）  |
| 6. 政治と社会と行政のOR        | 主査：諸星穂積（政策研究大） | 幹事：田中健一（電通大）   |
| 7. OR横断若手の会           | 主査：福永五郎（京大）    | 幹事：谷川眞一（京大）    |
| 8. 防衛と安全              | 主査：丸山 明（防衛省）   | 幹事：横谷大輔（航空自衛隊） |

9. サービス・イノベーションへの数理的アプローチ  
主査：高木英明（筑波大） 幹事：雑賀憲彦（名城大）
10. 大規模インストラクチャーのOR  
主査：三浦英俊（南山大） 幹事：鳥海重喜（中央大）
11. 食べ物とOR  
主査：石井博昭（関西学院大） 幹事：関 宏理（関西学院大）
12. 不確実性システムにおける意思決定  
主査：木庭 淳（兵庫県立大） 幹事：小出 武（甲南大）
13. 複雑系とOR  
主査：木下正博（北海道工大） 幹事：西川孝二（北海道自動車短大）
14. ORにおけるゲーム理論  
主査：渡辺隆裕（首都大東京） 幹事：梅沢正史（東理大）
15. OR普及のためのモチベーション教育  
主査：大堀隆文（北海道工大） 幹事：加地太一（小樽商大）
- 〈グループ〉
1. 都市と地域のOR  
主査：大澤義明（筑波大） 幹事：石井儀光（(独)建築研究所）

## 【表彰活動】

### □事業の趣旨・内容

本事業は、表彰活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

授賞件数は例年並みを想定している。

### 〈春季表彰〉 2月末までに審査・承認予定

1. 近藤賞                   およそ2年に一度の学会最高の栄誉で、公募・選考により藤重悟会員（京都大教授）が受賞する。
2. 業績賞                1～2件予定
3. 普及賞                1～2件予定
4. 実施賞                1～2件予定
5. フェロー称号授与   数件予定

### 〈秋季表彰〉 4月以降審査・決定予定

1. 研究賞                1件予定
2. 研究賞奨励賞        4件程度予定
3. 事例研究賞          1～2件予定
4. 論文賞                1件予定
5. 学生論文賞          5件程度予定

## 【その他】

□2012年10月に発足した「学会活性化委員会」を中心に、更なる研究・普及の深化と会員増強に努める。

# 収 支 予 算 書

(報告2)

平成25年3月1日から平成26年2月28日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 控除	合計
	公1 研究・普及啓発	小計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
特定資産運用益	27,000	27,000	3,000	0	30,000
特定資産受取利息	27,000	27,000	3,000		30,000
受取入会金	61,750	61,750	10,250	0	72,000
受取正会員入会金	30,750	30,750	10,250		41,000
受取学生会員入会金	31,000	31,000	0		31,000
受取会費	23,429,000	23,429,000	7,380,000	0	30,809,000
受取正会員会費収入	17,220,000	17,220,000	7,380,000		24,600,000
受取学生会員会費収入	829,000	829,000	0		829,000
受取賛助会員会費収入	5,380,000	5,380,000	0		5,380,000
事業収益	14,300,000	14,300,000	0	0	14,300,000
受取販売収益	3,569,000	3,569,000	0		3,569,000
受取参加料	4,785,000	4,785,000	0		4,785,000
受取広告料	4,446,000	4,446,000	0		4,446,000
受取受託料	1,000,000	1,000,000	0		1,000,000
受取掲載料	300,000	300,000	0		300,000
受取著作権料	200,000	200,000	0		200,000
受取補助金	80,000	80,000	0		80,000
雑収益	300,000	300,000	10,000	0	310,000
受取利息	0	0	10,000		10,000
雑収益	300,000	300,000	0		300,000
<b>経常収益計</b>	<b>38,197,750</b>	<b>38,197,750</b>	<b>7,403,250</b>	<b>0</b>	<b>45,601,000</b>
(2) 経常費用					
事業費	38,197,750	38,197,750		0	38,197,750
給料手当	2,825,100	2,825,100			2,825,100
臨時雇賃金	3,930,800	3,930,800			3,930,800
賞与	1,242,000	1,242,000			1,242,000
退職給付費用	171,000	171,000			171,000
福利厚生費	594,000	594,000			594,000
会議費	2,500,000	2,500,000			2,500,000
旅費交通費	1,850,000	1,850,000			1,850,000
通信運搬費	3,700,000	3,700,000			3,700,000
消耗品費	1,500,000	1,500,000			1,500,000
印刷製本費	7,261,000	7,261,000			7,261,000
賃借料	2,679,300	2,679,300			2,679,300
支払リース料	370,800	370,800			370,800
保険料	4,500	4,500			4,500
諸謝金	4,300,000	4,300,000			4,300,000
委託費	4,250,000	4,250,000			4,250,000
支払手数料	193,500	193,500			193,500
貸倒損失	480,000	480,000			480,000



科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 控除	合計
	公1 研究・普及啓発	小計			
雑費	345,750	345,750			345,750
管理費			7,403,250	0	7,403,250
給料手当			313,900		313,900
臨時雇賃金			381,200		381,200
賞与			138,000		138,000
退職給付費用			19,000		19,000
福利厚生費			66,000		66,000
会議費			350,000		350,000
旅費交通費			650,000		650,000
通信運搬費			50,000		50,000
消耗品費			40,000		40,000
賃借料			297,700		297,700
支払リース料			41,200		41,200
保険料			500		500
水道光熱費			250,000		250,000
租税公課			350,000		350,000
委託費			1,260,000		1,260,000
支払手数料			21,500		21,500
支払報酬			550,000		550,000
諸会費			550,000		550,000
貸倒損失			720,000		720,000
雑費			1,354,250		1,354,250
経常費用計	38,197,750	38,197,750	7,403,250	0	45,601,000